


【件名】	等々力大橋（仮称）左岸低水護岸設置工事	【事務所名】	第二建設事務所	
【工事場所】	東京都世田谷区玉堤二丁目地内	【受注者名】	巴山建設株式会社	
【工期】	令和4年8月8日から令和5年7月25日まで	【主たる技術者名】	宇賀神 一人	

## 【工事概要】

工事延長 L=138.3m

- ・連節ブロック張設置工：1,714㎡
- ・消波根固めブロック製作工（3t）：271個
- ・かごマット工：1,071㎡
- ・大型土のう工：796袋
- ・仮締切工（鋼矢板Ⅳ型、L=10.5m）：542枚

## 【表彰理由】

本工事は、等々力大橋（仮称）整備事業による護岸整備工事であり、多摩川河川内での工事のため非出水期施工が必須の条件である。その条件下で、河川管理者との調整による現場状況の変化に伴う協議に関し、迅速かつ的確な資料作成・提出をするとともに、ICT技術の活用や、根固めブロック製作においても湿潤・保温に優れた養生シートを使用するなど、品質管理の向上を図った。

また漁業関係者への丁寧な説明や、地域住民への配慮（散水、歩行者導線の補修・清掃等）を行うなど、きめ細かな対応を継続しつつ、非出水期内に本体護岸工事を完了させ、その他工事区域内の整備を含め、予定工期内に工事を完了させた。



施工前



施工後

## 【受注者の声】

- ◇ 苦労した点  
同時期に発注された「下部工事（その2）」と施工区域が隣接していたため、施工に使えるヤード等が限られたこと。
- ◇ 特に工夫した点  
ICT施工技術で法面整形を行ったこと。仮締切工において多くの玉石が確認され工期への影響が懸念されたが、クラッシュパイラー2台による施工に変更し工期を厳守した。根固めブロックの凍結防止にコンクリートの水和熱による保温状態にできる「コマシートシルバー」の使用。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感  
隣接工事と日々調整を行い、お互いに協力して無事竣工できたこと。また、等々力大橋（仮称）事業計画の右岸・左岸の両方の護岸工事に携われたことを誇らしく感じます。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと  
建設業は決して楽な仕事ではないですが、自分が苦労して作り上げたものが地図の一部になり、後世に残ります。この経験と感動を共に味わいましょう。



根固めブロック製作でコマシートシルバー（温度変化対策）を使用したコンクリート養生状況



ICT技術の活用した法面整形状況



クラッシュパイラー施工状況